

『歩いて楽しい回遊性のあるまちづくり』に取り組んでいます

新宿駅東口地区において、より歩きやすく魅力的な歩行者空間の創出に向けた社会実験を実施します。

■社会実験の実施主体

歩いて楽しい回遊性のあるまちづくりに向けて、**地元商店街、学識経験者、警察、国、東京都及び新宿区**で構成する「**新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会**」が主体となり関係者が連携して取り組んでいます。

今年度の社会実験は、**国土交通省の社会実験助成制度**を活用して実施します。

■社会実験の目的

歩行者環境の改善のため、地域荷さばきの集約化を行い、**対象地区内に流入する車両の抑制と路上駐車削減**を図ります。 ※1日の路上駐車台数を約60台削減することを目指します。

■実験日

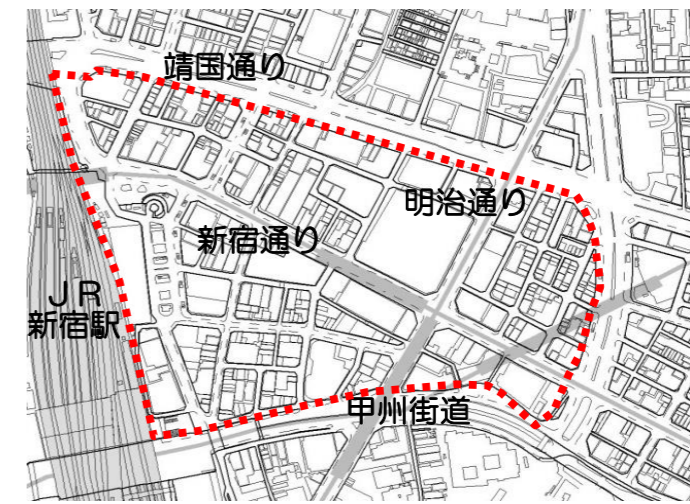
平成28年11月8日（火）～9日（水）

■実験内容

- I 「荷さばき集約化実験」
 - ・ 地区内に配送される荷物の集約化を行い、車両の流入抑制を図ります。
- II 「駐車場所・駐車時間の適正化実験」
 - ・ 路上駐車車両に対して声掛け等を行い、路上駐車削減による空間創出を図ります。

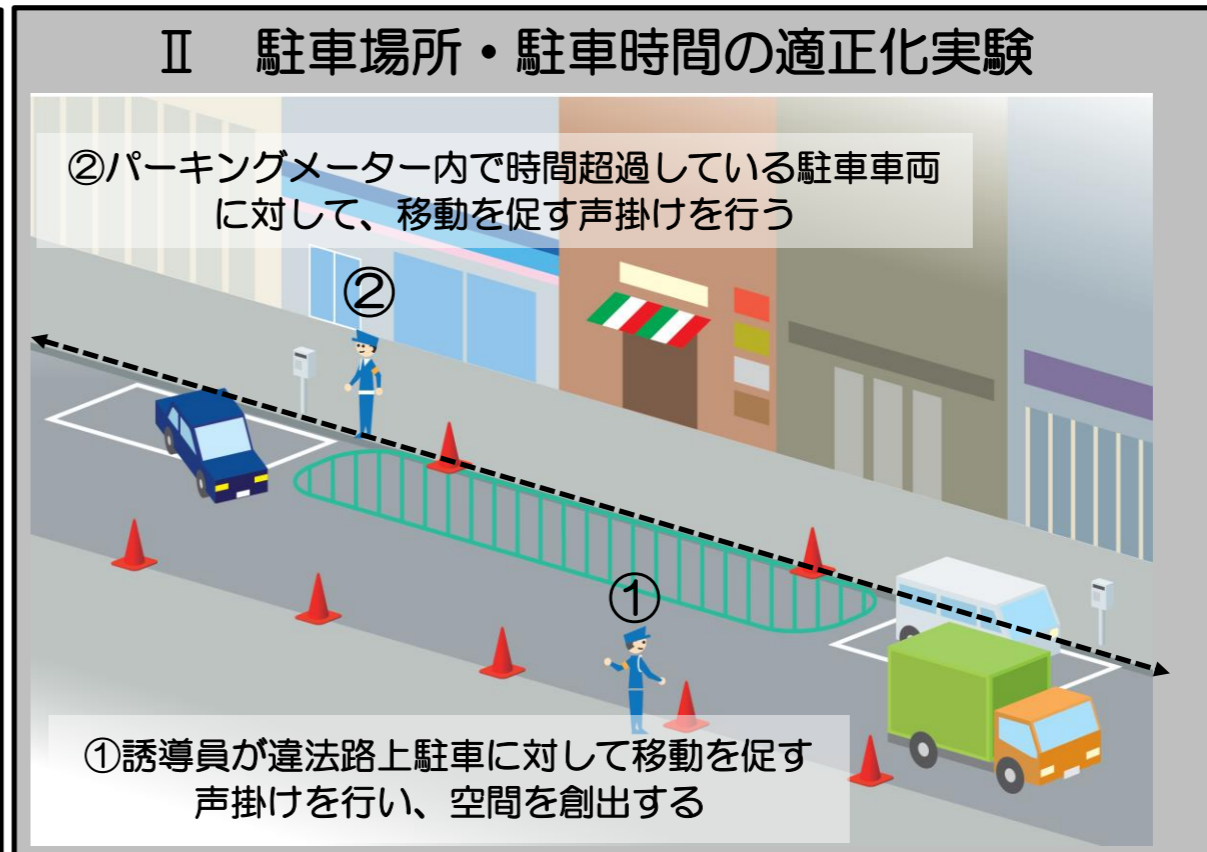
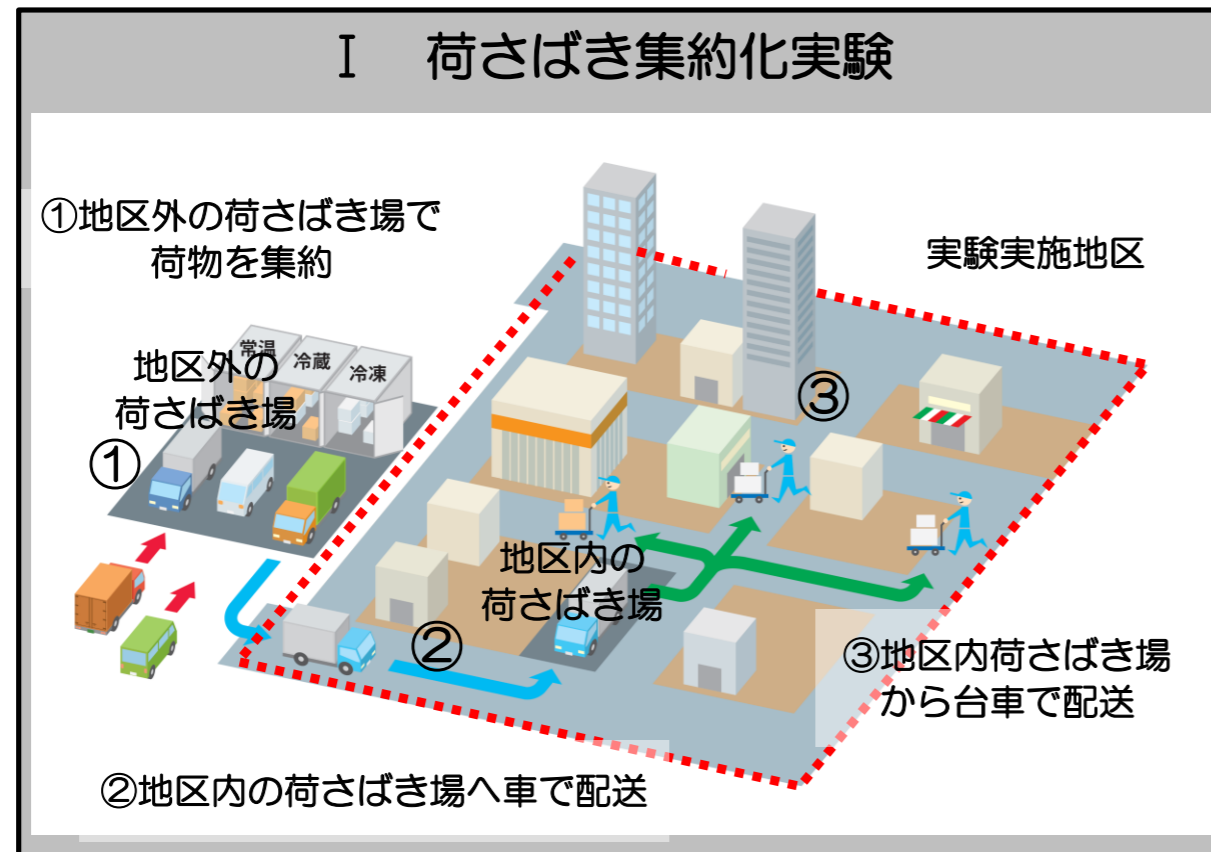
■実験イメージ

■実験実施範囲



実験実施地区

※社会実験に伴う交通規制はありません



歩きやすく魅力的な歩行者空間とすることで、新宿通りモール化につなげ、新宿のブランド力を高めていきます